

## <サステナビリティ重点テーマにおける最近の取り組み>

4つのサステナビリティ重点テーマごとに、以下のとおり解決に向けて取り組んでいきます。

### 重点テーマ① すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

・各社が特化しているマーケットに適合した商品・サービスを提供していくことにより、社会課題の解決に貢献していきます。

#### お客さまニーズにあった商品・サービスの提供

➢太陽生命では、「感染症プラス入院一時金保険」等の商品や、「ガン・重大疾病予防検査キャッシュバックサービス」等の予防サービスを提供してきました。これからも幅広いお客さまニーズにお応えし、「**多くのお客様の元気・長生きを支える会社となる**」ことを目指していきます。

➢大同生命では、保険を通じて中小企業の健康経営を推進する「会社みんなでKENCO+」等の商品や、経営者同士が想いや悩みを共有するWebコミュニティ「どうだい?」を提供してきました。これからも中小企業の社会的課題解決に取り組むことにより、「**期待を超える価値をお届けする“中小企業に信頼されるパートナー”となる**」ことを目指していきます。

➢T&Dフィナンシャル生命では、人生100年時代の資産運用・資産管理ニーズにお応えする商品・サービスを提供し、「**お客さまの人生のこれからは豊かさと安心をお届けする**」ことを目指していきます。

➢ペット&ファミリーでは、ペットの健康を守るための商品・サービスを提供し、「**人とペットの豊かで平和な暮らしを実現させる**」ことを目指していきます。

### 重点テーマ② すべての人が活躍できる働く場づくり

・お取引先、当社従業員など、すべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を推進していきます。

#### 人権課題への対応

➢各種人権課題（海外での人権侵害、ハラスメント等）に対し適切な対応ができているか、「**人権デューデリジェンス**」の項目拡充を通じた取り組みの強化を図っています。

#### 人的資本への投資と情報開示の充実

➢グループの人材マネジメントの基本的な方針である「グループ人事基本方針」に則り、**人材の活用と育成、多様性への取り組み、働きやすい職場環境の構築等**に取り組んでいます。

➢従業員が会社への貢献意欲や愛着を持ち、会社の一員であることの誇りや責任、成長を感じて自発的に業務に取り組んでいるか、「**従業員満足度調査**」を通じて確認し、その結果を公表します。

➢グループ各社の人事関連データ等の情報開示の充実に取り組めます。

#### 働きやすい職場作り

➢在宅勤務環境の整備やシェアオフィスの利用対象者・地域を拡大し、従業員の多様な働き方を可能とする体制を構築しています。

➢従業員に対し、がんや生活習慣病等の疾病リスクを評価する「**アミノインデックス®**リスクスクリーニング」の受診をサポートし、従業員の健康寿命の延伸に取り組んでいます。

## 重点テーマ③ 気候変動の緩和と適応への貢献

- ・地球環境の保護、地球温暖化対策への貢献は、T & D保険グループにとっても極めて重要な果たすべき役割と認識しています。当社グループでは、環境への取組姿勢を明確に示すため、「T & D保険グループ環境方針」(<https://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/environment.html>)を制定するとともに、具体的な目標設定を行い、着実に成果を挙げていきます。

### 2050年ネットゼロ達成に向けた取組み

- T & D保険グループでは、2050年までに自社排出のCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）とする長期目標を掲げるとともに、2025年度までにCO<sub>2</sub>排出量の40%削減（2013年度比）を目指す中間目標を設定しています。
- CO<sub>2</sub>排出量の削減を推進するため、当社グループは、事業活動における全消費電力を再生可能エネルギーで賄うことを目指すグローバルイニシアティブ「RE100」に2022年4月に加盟しました。当社グループでは、「2030年度までに60%再エネ化」を目標に再生可能エネルギーの利用を積極的に促進していきます。



### T C F D開示の高度化

- T & D保険グループでは、2017年6月に気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）に賛同し、TCFDの提言に即した情報開示に積極的に取り組んでいます。気候変動が当社グループに及ぼす影響や、その影響下での事業の継続性等を認識するため、平均気温の上昇が当社グループに与える影響を検証するシナリオ分析を実施しています。2022年度には保険収支への影響を定量的に確認し、物理的リスクに関する分析を実施します。

### 生物多様性の保全など

- T & D保険グループでは、脱炭素に向けた情報開示の促進やCO<sub>2</sub>排出量の削減、生物多様性の保全への貢献を図っていくため、新たな国際的な枠組みや情報開示基準への参加・適合を積極的に検討し、具体的なアクションプランの策定に向け取り組んでいきます。

## 重点テーマ④ 投資を通じた持続可能な社会への貢献

- ・責任ある機関投資家として、投融資活動を通じてE（環境）・S（社会）・G（企業統治）の各課題に貢献します。

### ESGテーマ型投融資

- ESGの課題を考慮し、持続可能な社会の実現に貢献できるテーマを持った資産等への投融資に取り組みます。個別の投資案件ごとに収益性とリスクを見極めながら、着実に残高を積み上げていきます。



### ESGインテグレーション

- T & D 保険グループ ESG 投資方針 (<https://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/esg.html>) に基づき、株式や債券等の有価証券、不動産等の投融資の際に、投融資先企業の財務情報に加え、ESG等の非財務情報に関する分析・評価を取り入れることで、長期的な投資成果の向上とともに、持続可能な社会の実現に向けた機関投資家としての使命を果たすよう努めてまいります。
- 生命保険事業の使命や公共性に鑑み、クラスター爆弾のほか、生物兵器・化学兵器等の非人道的兵器等への関与が確認された場合等は、その企業への投融資を原則禁止しています。また、気候変動への影響が大きい石炭火力発電事業への新規投融資を実施しない方針としています。

### 投融資先との対話（エンゲージメント）

- 「責任ある機関投資家」の諸原則（日本版スチュワードシップ・コード）の趣旨を踏まえ、投融資先企業との建設的な対話（エンゲージメント）を通じて、投融資先企業の中長期的な成長を支援していきます。

### 投融資先のCO2排出量ネットゼロに向けた取組み

- T & D 保険グループでは、自社が排出するCO2排出量のネットゼロに取り組むとともに、機関投資家として投融資先のCO2排出量についても2050年度までにネットゼロとする削減目標を設定し、社会全体の排出量削減に貢献することを目指しています。その削減目標の達成に向けた取組みを着実に加速させるため、2030年度までに投融資先のCO2排出量を40%削減（2020年度比）する中間目標を設定しました。
- 目標の達成に向け、当社グループでは、グリーンボンド等のESG債への投資やプロジェクトファイナンスへの取組み等を継続していきます。